

出穂は平年並みの見込みです！

今年は、平年並みの8月5日～9日頃に出穂する見込みです。

- 中干しは終わらせて、水をきらさないようにしましょう。
- 病害虫対策として、7月下旬までに草刈りをしましょう。
- 追肥する場合は、幼穂形成期に実施しましょう。

1 幼穂形成期から減数分裂期の水管理

- ・ 幼穂形成期（7月中旬）～減数分裂期（7月下旬）は低温に弱い時期なので、入水を始めましょう。
- ・ 低温の注意報が出たら、できるだけ深水とするようにしましょう。

2 病害虫対策

（1）いもち病

・ 葉いもち病

病斑を確認したら、感染が広がらないように、ただちに薬剤散布しましょう。

・ 穂いもち病

予防剤や粉剤を散布しましょう。詳しくは、最寄りのJAや普及センターにお問い合わせください。

ただし、箱施用剤を使用した「いわてっこ」では、穂いもち対策は省略できます。



葉いもちの病斑

（2）カメムシ

- ・ 出穂10～15日前まで（7月24日頃）には、草刈りをしましょう。
- ・ 草刈りが遅れると、カメムシによる被害が発生する恐れがあるので、遅れないようにしましょう。

3 追肥

- ・ 幼穂形成期（7月中旬）に窒素成分1kg/10aを追肥しましょう。

※カメムシの薬剤防除については、8月8日頃にお知らせします。

※このような情報をタイムリーに入手することに役立つ、メール配信をしています。
ご自身のメールから ce0026@pref.iwate.jp（普及センター組織アドレス）まで「氏名」、「住所」、「電話番号」を送信していただければ登録できます。ぜひご利用ください。

お問合せ先：JA 新いわて久慈営農経済センター（電話 0194-52-1318）
久慈農業改良普及センター（電話 0194-66-9683）